

写真でつづる「山姥切国広展」

内 覧 会 3月3日(金)



オンラインゲーム「刀剣乱舞」の制作会社、ニトロプラスの小坂社長も来足。関係者や報道機関など約100名が参加し、担当者の説明に聞き入りました。

初 日 3月4日(土)



初日には全国から1,266人が来館。開館前から約1,000人が並びました。最大で4時間待ちとなり、途中で入場を打ち切る事態も。また、「刀剣乱舞」のキャラクター、「こんのすけ」も登場し、会場が沸きました。

＼来館者の声／

「今日が来るのを楽しみにしていた。初日に見られて幸せ」
「こうして公開されることはないと思っていたので感動」
「無料配布のリーフレットがめっちゃくちゃ豪華」
「朝から並んで観てきたが、列さばきが神対応」
「スタッフさんのおかげでストレスなく観られた」



▲好評だったリーフレット

刀剣乱舞-ONLINE-コラボ企画 スタンプラリー 期間中毎日



延べ約 20,000 人がスタンプラリーに参加。

スタンプ会場となった市立美術館、史跡足利学校、鑢阿寺、長林寺、足利織姫神社ではスタンプを押すための長蛇の列ができました。

また、ラリー会場に設置された「刀剣乱舞」キャラクター「山姥切国広」の等身大パネルも大好評で、記念写真を撮る列もできました。

＼参加者の声／

「スタンプラリーも楽しかった」
「待ち時間を利用して、スタンプラリーを回れて、足利を満喫できた」

▶大好評につき増刷したスタンプブック





スタンプラリーを回るため、観光協会のレンタサイクルも大好評。期間中延べ1,104台の貸し出しがありました。これは、昨年1年間の台数とほぼ同数です。



またスタンプラリーとは別に、足利市東部にあるあしかがフラワーパークでは、初日の3月4日(土)に「こんのすけ」を呼んでのイベントを実施。さらに、企画展開催期間中はあしかがフラワーパークにキャラクター等身大パネルを設置して、まちなか以外にも足を運んでいただきました。

太平記館でのグッズ販売 期間中毎日



太平記館で販売した「刀剣乱舞」の限定グッズは、初日に約330人の行列ができ、約1時間半で完売。買えなかった人には後日発送するという形態をとりました。

＼来館者の声／

「グッズ販売に並んでいたらカイロ配られた。足利市の人たち優しい」

「後日発送だから確実に手に入る」

「グッズ購入で悩まなくてすむ分、たくさん観光していきたい」

協力店46店舗がまちを盛り上げ！ 期間中毎日



コラボメニューを提供した飲食店などでも長蛇の列が。仕入れや仕込みが間に合わない店舗が続出し、嬉しい悲鳴が聞かれました。

直接利益につながらない店舗でも、商業会独自のスタンプラリーの実施や、無料休憩所の提供、手荷物の預かりなどで、盛り上がりにご協力いただきました。

＼店主の声／

「若い女性がたくさん来店して華やかだった」

「当初、刀剣やゲームのこともよく知らなかったが、あまりに反響が大きく、お客さんのアイデアを取り入れて、ファンの皆さんの好みになるよう改良を加えていった」

「コラボメニューに限らず、足利の今までの商品も知ってもらおうきっかけになった」

＼来館者の声／

「町総出で盛り上げようとしているのが伝わって嬉しかった」

「官民一体の本気を見た」

「足利の皆さん優しすぎる。できるだけお金を落として行ってあげたい」

史跡足利学校の刀剣史料展 期間中毎日



期間中の参観者数は 34,434 人で、前年同時期に比べて約 4 倍。

刀剣の資料を閲覧できるようにしたため、朝から夕方までじっくり読み入る方もいました。

また、普段の展示に比べ、職員に積極的に質問をしてくる方も多く見られました。

映画「日本刀」の上映 期間中 金・土・日曜日



ハマダホールで実施した上映会には平均 1 日 100 人程度が来館。朝の整理券の配布時には列ができましたが、皆さんのマナーがよく、混乱なくスムーズに上映できました。

専門的なドキュメンタリー映画にもかかわらず、上映後には拍手が起こりました。

また、上映前にボランティアの方が刀剣についての説明をしてくださり、日本刀の資料も用意してくれて、来場者に喜んでいただきました。

＼来館者の声／

「展示も映画も実施してくれた足利に感謝」

コスプレイヤー来たる！ 3月11日(土)



市内で民間事業者によるコスプレイベントが開催されたため、「刀剣乱舞」のキャラクター「山姥切国広」に扮したコスプレイヤーも、全国から集まりました。

長尾氏ゆかりのバスツアー 3月18日(土)・25日(土)



18日(土)と25日(土)の午前、午後、計4回開催し88人の方が参加しました。ツアー販売から約1時間で完売するほどの人気ぶりでした。

＼参加者の声／

「いたれりつくせりのツアーで大満足」

「山姥切国広のルーツを知ることができてよかった」

託児サービス 期間中 日曜日



12日(日)、19日(日)、26日(日)に各1人、計3人の利用がありました。

来館者の年齢層は子育て世代より若い人が多かったためか、利用は少なかったですが、託児を準備したこと自体を評価する声も聞くことができました。

＼利用者の声／

「ゆっくり見ることができ、展示を楽しむことができた」

大好評！特別講演会 3月12日(日)・19日(日)

12日(日) 東京国立博物館名誉館員・小笠原信夫氏「堀川国広について」



定員 200 人のところ 453 人の応募があり、抽選の結果、280 人の方が参加しました。刀剣界の権威の講演に、皆さんが聴き入りました。

＼参加者の声／

「小笠原先生の話が聴けて感激」

「小笠原先生の講演会がなければ、足利には来なかった。先生の話聴く機会を作ってくれて感謝」

19日(日) 群馬県立歴史博物館学芸係長・築瀬大輔氏「足利長尾氏と両毛地域の戦国」



150 人の方が参加。山姥切国広の作刀を依頼した長尾氏のことについて、詳しく説明がありました。

＼参加者の声／

「山姥切国広が作られた当時の話が聴けて良かった」

「長尾氏の話が聴けて良かった」

**過去最高の 1,760 人(一日あたりの入館者数)を記録！ 3月19日(日)
(三連休中日)**



初日の反省や来館者の声を踏まえ、翌週からは整理券制を導入。以降大きな混乱もなく案内できました。多くの方が待ち時間を利用して市内散策を楽しみました。

＼来館者の声／

「整理券配布を行ってくれたおかげで、足利を堪能することができた」

「足利の対応がどんどん洗練されていく」

「たくさんお買い物して経済協力します」

また、この日に限らず、まちなかは多くの人で活気にあふれました。



＼市民の声／

「多くの人が出ていて、昔の足利を見ているようだ」

「多くの人がいる足利を見ておきたい」

「足利市の歴史の奥深さを知った」

「全国から来訪者が来るので、ぜひ足利市の良いところを知ってもらいたい」

「見に行きたいけど、残念だけど混んでいるので遠慮しておく」

休館日に小・中学生をご招待 3月21日(火)



期間中、唯一の休館日だった3月21日には、市内の小・中学生約500人を招待しました。間近に見る名刀に興味津々でした。

来館者に「素通り禁止！足利」をPR！ 期間中 水・木・金曜日



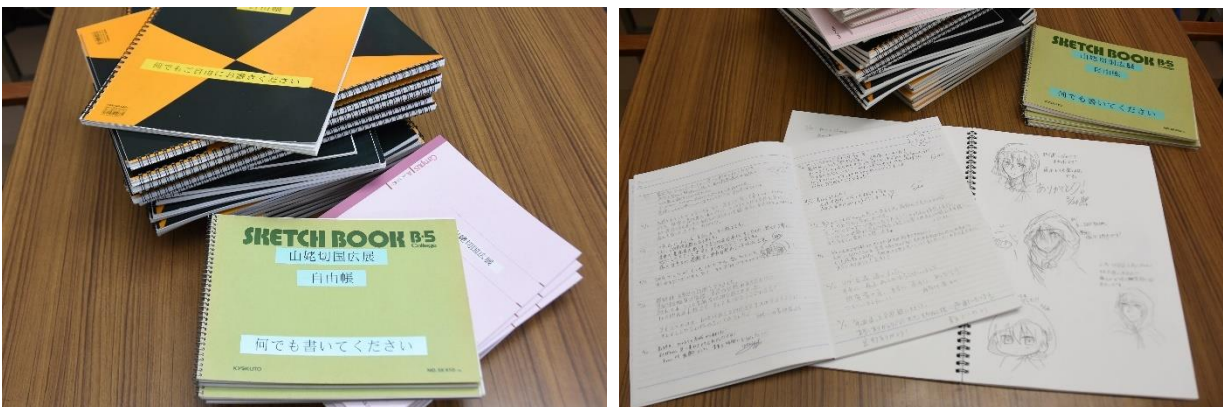
水・木・金曜日の朝並んでいる方限定で、缶バッジを各 50 個、計 600 個配布し、足利をPRしました。

＼来館者の声／

「この缶バッジ、ツイッターで見て欲しかった」

「足利はいい。缶バッジもかわいい」

来館者の思いを描いた自由帳は38冊！ 期間中 毎日



来館者が自由にコメントできるように市立美術館に設置した「自由帳」。期間中に38冊がいっぱいになりました。「刀剣乱舞」のキャラクターのイラストに加え、皆さんの感謝の声にあふれていました。

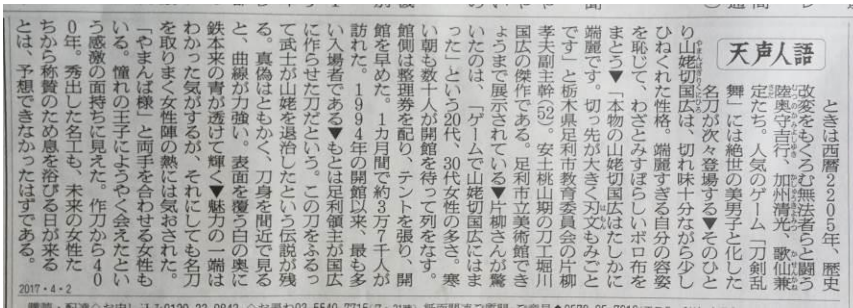
＼書かれたコメント／

「言葉も出ないくらい美しかった。圧倒された。来てよかった」

「個人蔵の山姥切国広を生きているうちに見られるなんて。本当にありがとうございました」

「足利最高です」

最終日 4月2日(日)



最終日の朝日新聞朝刊「天声人語」でもその熱狂ぶりが紹介されました。



閉館間際、「山姥切国広」との別れを惜しんで、涙する姿も。また、展示終了後、展示室のシャッターが降りるのを最後まで見届ける姿もありました。



閉館後も名残惜しみ、掲示されたポスターをじっと見つめたり、写真を撮ったりする方が100人以上残っていたため、急ぎよ閉幕式を実施。会場は、大きな拍手と感謝とねぎらいの声に包まれました。